

「第4回 服部真二賞」 受賞者決定のお知らせ



一般財団法人 服部真二 文化・スポーツ財団（所在地：東京都中央区、理事長：服部真二）は、第4回「服部真二賞」の受賞者を決定しました。

本賞は、音楽やスポーツなどの分野において、発展・改革に挑むリーダー、世界に向けて挑戦している若い人、彼らを心身両面から支え育成に努めているコーチ・エキスパートを応援し、さらなる活躍のための環境づくりを行うことを目的としています。第4回目の「服部真二賞」受賞者は、次の7名の方々です。

授賞式は 11月1日（月）に関係者のみにて執り行います。当日の様子は、11月4日（木）より当財団HPにて公開いたします。

服部真二賞

- ・高いビジョンを持ち、音楽・スポーツの発展・改革に挑戦しつづけるリーダー Young Leader :
米国大リーグでトップレベルの「二刀流」をこなし、たゆまぬ向上心と探求心で進化し続けている
大谷翔平さん（野球選手）

服部真二 音楽賞

- ・世界をめざし、挑戦しつづける若い音楽家 Rising Star :
数々の国内コンクールで優勝を果たし、フルート奏者としての将来を嘱望されている
岡本梨奈さん（フルート奏者）

国内外の39のコンクールで優勝し、高い技術と豊かな表現力で世界に羽ばたこうとしている
吉村妃鞠さん（ヴァイオリニスト）

- ・音楽家を支え、育成に尽くされているコーチ・エキスパート Inspiring Coach :
ダンスを通じて海外に日本のポップカルチャーを知らしめ、後進の育成にも力を注いでいる
TAKAHIRO さん（ダンサー、振付家）

服部真二 スポーツ賞

- ・世界をめざし、挑戦しつづける若いアスリート Rising Star :
世界最年少で「エクスプローラーズ・グランドスラム」を達成しその後も数々の冒険に挑み続けている
南谷真鈴さん（エクスプローラー）
- ・アスリートを支え、育成に尽くされているコーチ・エキスパート Inspiring Coach :
サッカーを通じてアフリカの子どもたちが自立することを支援し、医療環境の改善にも尽力している
中町公祐さん（プロサッカー選手）

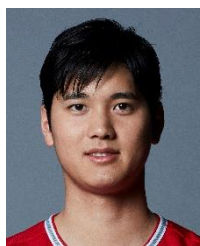
服部真二 特別賞

- ・優れた業績を残し、音楽・スポーツの普及振興に貢献している音楽家・アスリート
怪我など多くの困難を乗り越えて3回目の五輪出場を果たし、更なる高みを目指して挑戦を続けている
山縣亮太さん（陸上競技選手）

<受賞者プロフィール>

■ 服部真二賞 Young Leader

高いビジョンを持ち、音楽・スポーツの発展・改革に挑戦しつづけるリーダー



大谷翔平（おおたにしょうへい）さん
野球選手

1994 年岩手県生まれ

MLB のロサンゼルス・エンゼルス所属 2013 年に NPB・北海道日本ハムファイターズに入団以降、投手と打者を両立する「二刀流」の選手として試合に出場し、2014 年には 11 勝、10 本塁打で NPB 史上初となる「2 桁勝利・2 桁本塁打」を達成 MLB では 2018 年にアジア人史上 4 人目（日本人史上 4 人目）の新人王を受賞 2019 年にはアジア人史上 2 人目（日本人史上初）のサイクルヒットを達成した 2021 オールスターゲームに史上初の投打同時選出となった

・インスタグラムアカウント： shoheiohtani

■ 服部真二 音楽賞 Rising Star

世界をめざし、挑戦し続ける若い音楽家



Photo by  TWEED PRESS

岡本梨奈（おかもとりな）さん
フルート奏者

2006 年生まれ 9 歳よりフルートを始める

2018 年 第 1 回 K フルートコンクール小学校の部 第 1 位
第 28 回日本クラシック音楽コンクール小学校高学年の部 第 2 位(最高位)

2019 年 第 15 回仙台フルートコンクール中学生以下の部 第 1 位

2020 年 第 17 回日本管弦打楽器ソロコンテスト木管楽器部門中学校の部 金賞グランプリ クリスタルミューズ賞受賞、第 1 回東京国際フルートオーディション中学校の部 グランプリ、第 1 回学生吹奏楽コンクール・オンライン中学高校フルート部門 第 1 位(6 楽器全部門中最高得点獲得・総合 1 位)、第 74 回全日本学生音楽コンクール全国大会中学校の部 第 1 位あわせて横浜市民賞受賞、第 30 回日本クラシック音楽コンクール フルート部門中学校の部 第 1 位

2021 年 かながわ音楽コンクールフルート部門中学校の部 最優秀賞(第 1 位)受賞

在住地の岩手県より 2020 年度、はばたき賞、芸術文化奨励賞、岩手県中学文化連盟栄光賞受賞

2020 年上野星矢氏サントリーホールリサイタルゲスト出演(10 月)、2021 年東日本大震災 10 年慰霊祭出演(3 月) 今後、セバスチャン・ジャコー氏とのジョイントリサイタル、神奈川フィル交響楽団との共演、12/5 クラシック・ヨコハマ ソロコンサート出演などが決定している

現在、岩手県北上市立上野中学校 3 年生

■ 服部真二 音楽賞 Rising Star

世界をめざし、挑戦し続ける若い音楽家



Photo by 岩切等

吉村妃鞠（よしむらひまり）さん
ヴァイオリニスト

2011年生まれ

2018年 第2回レオニード・コーガン国際ヴァイオリンコンクール第1位（ベルギー）

2019年 12回アルテュール・グリュミオー国際ヴァイオリンコンクール第1位および特別グランプリ（ベルギー）、第26回アンドレア・ポスタッキーニ国際ヴァイオリンコンクール第1位および特別賞（イタリア）、第20回シェルクンチク国際音楽コンクール第1位（ロシア）

国内外39のコンクールで全て1位 レーピンやヴェンゲーロフらを輩出させた世界的指導者ザハール・ブロン氏は「並外れた才能と信じられないほど高い技術はもちろん、彼女は様々な音色を表情豊かに演奏し聴衆全てに感動を与えた」と評した

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学の国際サマーアカデミーAward Winner、モーツァルテウム大ホールにおけるザルツブルク音楽祭2019コンサートに最年少で出演 その他ロシア、スイス、オーストリア、イタリア、ベルギー、ウクライナのコンサートに出演 これまでウラディーミル・スピヴァコフ、ニコライ・ジャジューラ、イヴァン・ストルボフ、小林研一郎、大友直人、広上淳一、竹本泰蔵、三ツ橋敬子、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団等と共演

原田幸一郎、小栗まち絵、ザハール・ブロンの各氏に師事 慶應義塾幼稚舎4年生

・インスタグラムアカウント： himariviolin

■ 服部真二 音楽賞 Inspiring Coach

音楽家を支え、育成に尽くされているコーチ・エキスパート



Photo by 篠山紀信

TAKAHIRO (たかひろ) さん

ダンサー、振付家

1981 年生まれ

ダンサー、振付家として日米で活躍

世界一有名な HIPHOP エンターテインメントコンテスト「NY APOLLO Amateur Night TV Show」(Showtime at the APOLLO)にソロダンサーとして出場 史上最高記録となる 9 大会連続優勝を達成し、米国プロデビュー 2007 年には Newsweek「世界が尊敬する日本人 100」に選出 2009 年マドンナワールドツアーのステージダンサーオーディションにおいて、全米の優れたダンサーの中から選出されヨーロッパツアーに参加

これまでに「TAKAHIRO DANCE in the World」「ゼロは最強」の書籍を上梓 振付師としても「大阪世界陸上開会式」、樺坂 46「サイレントマジョリティー」「不協和音」など、日向坂 46・櫻坂 46・A.B.C-Z・超特急・矢沢永吉・SEKAI NO OWARI など様々なアーティストの振付を担当している

2020 年には、日向坂 46「青春の馬」の振付において、MTV Video Music Awards Japan 2020 最優秀振付賞 (Best Choreography) 受賞

「The fastest 20 m moonwalk」ギネス記録保持者

大阪芸術大学客員准教授 慈慶学園 COM グループ名誉教育顧問

- ・公式 HP: <https://topcoat.co.jp/takahiro>
- ・Instagram アカウント: Takahiro_dancer
- ・Twitter アカウント: @TAKAHIRO_UENO_

■ 服部真二 スポーツ賞 Rising Star

世界をめざし、挑戦し続ける若いアスリート



南谷真鈴 (みなみやまりん) さん

エクスプローラー

1996 年 12 月生まれ 幼少期の 13 年を香港、上海、マレーシアなど海外で過ごす

2015 年 アコンカグア(アルゼンチン)を皮切りに、キリマンジャロ(タンザニア)、モンブラン(フランス)、マナスル(ネパール)、コジオスコ(オーストラリア)制覇

2016 年 ヴィンソン・マシフ(南極大陸)、南極点到達、カルステンツ・ピラミッド(インドネシア)、エルブルス(ロシア)登頂

2016 年 5 月 エベレストに登頂し日本人最年少記録を更新

2016 年 7 月 デナリ(米国アラスカ)に登頂し 7 大陸最高峰(セブンサミッツ)の日本人最年少記録を更新
2017 年 4 月 北極点に到達し「エクスプローラーズ・グランドスラム」達成の世界最年少記録を樹立
2021 年現在、早稲田大学より米国コロンビア大学へ転入、在学中夏季に K 2 (パキスタン) 遠征を計画
するも、現地入国規制(変異型 COVID-19 水際対策)の影響により断念
・公式 HP : <https://marinminamiya.com/>

■ 服部真二 スポーツ賞 Inspiring Coach

アスリートを支え育成に尽くされているコーチ・エキスパート



中町公祐 (なかまちこうすけ) さん
プロサッカー選手

1985 年	群馬県生まれ
2004 年	群馬県立高崎高等学校を卒業後、湘南ベルマーレ(当時 J2) 入団 同年に慶應義塾大学総合政策学部にて現役合格 同大初の在籍しながらの J リーガーとなる
2008 年	湘南ベルマーレを退団し慶應義塾体育会サッカー部に入部 同部在籍中にユニバーシアード日本代表に選出 世界大会銅メダルを獲得
2010 年	アビスパ福岡(当時 J2) に入団 1 年目で J1 昇格を果たしキャプテンを歴任
2012 年	横浜 F・マリノスに移籍 第 93 回天皇杯優勝
2014 年	横浜 F・マリノスの選手会長に就任
2016 年	日本プロサッカー選手会・副会長に選任
2019 年	Zesco United F.C. (ザンビア・プレミアリーグ) に入団 J リーガーから初となるアフリカ移籍を実現 あわせて現役選手として初となる JFA 国際委員に選任 同年、NPO 法人 Pass on を設立 代表理事に就任
2021 年	2013 年より取り組んでいる“Pass on プロジェクト”も継続し、アフリカ地域 80 ヶ所の恵まれない子供達へ 500 個を超えるサッカーボールを寄贈し、ザンビア・ンドラ州に妊産婦の待機施設であるマザーシェルターの建設を完了

・公式 HP : <https://pass-on8.net/>
・Youtube : <https://www.youtube.com/channel/UCGUZn8w0EyUsZ8UveK0G66Q>
・Instagram アカウント : [npo.pass.on](https://www.instagram.com/npo.pass.on)

■ 服部真二 特別賞

優れた業績を残し、音楽・スポーツの普及振興に貢献している音楽家・アスリート



山縣亮太 (やまがたりょうた) さん
陸上競技選手

1992 年 広島県生まれ
2012 年 ロンドン五輪 100m 準決勝進出、4×100mR 4 位
2013 年 日本陸上競技選手権大会 100m 優勝
2016 年 日本陸上競技選手権大会 100m 2 位、リオ五輪 100m 準決勝進出/4×100mR 2 位、
全日本実業団選手権 100m 優勝
2017 年 全日本実業団選手権 100m 優勝
2018 年 日本陸上競技選手権大会 100m 優勝、ジャカルタアジア大会 100m 3 位/4×100mR
優勝、全日本実業団選手権 100m 優勝
2021 年 布勢スプリント 100m 優勝、陸上男子 100m 9.95 日本新記録樹立、東京五輪出場、日本
代表選手団主将就任
2015 年よりセイコーホールディングス株式会社 社員アスリートとして活動中
陸上男子 100m 日本記録保持者
・公式 HP： https://www.seiko.co.jp/sports_music/sports/support_player/yamagata.html
・Instagram アカウント： y.ryo34
・Twitter アカウント： @V7Jqq

<一般財団法人 服部真二 文化・スポーツ財団について>

セイコー創業者の理念である「報公」と「挑戦」の精神を受け継ぎ、社業の中で深く関わり 自身の心のよりどころでもある「音楽とスポーツ」の分野で社会の役に立ちたいという想いを強く持った セイコーホールディングス株式会社 代表取締役会長兼グループ CEO 兼グループ CCO 服部真二により 2017 年 11 月 1 日に設立されました。

未来を信じて世界に挑戦する若い才能（音楽家・アスリート）の応援を事業の中心に据え、社会貢献の一端を担ってまいります。

服部真二賞 正賞 トロフィーのご紹介

服部真二賞の受賞者に贈られるトロフィーは、受賞者の輝かしい未来と、セイコーのモノづくりの歴史とを表現するために、「江戸切子」と「クォーツ時計」クロックとを組み合わせで作られています。

セイコーの創業者である服部金太郎は 1892（明治 25）年に、古くからモノづくりの町として栄えた墨田の地に精工舎を設立し、掛時計（クロック）の生産を開始しました。そこから始まったセイコーの歴史の中でも、世界に先駆け小型化・実用化に成功し、その後世界標準となった「クォーツ時計」は特筆すべき挑戦の結晶です。

一方の「江戸切子」は、江戸時代 墨田川以东の墨東地区にて広く生産されていました。明治以降も素材や技法の研究により進化を続け、現在は東京都および国の伝統工芸品に指定されています。職人の手によって創り出される美しい輝きは、いつの時代も人々を魅了しています。

受賞者の未来を現わすように輝く「江戸切子」に、セイコーの歴史が詰まった「クォーツ時計」のクロックを組み合わせたトロフィーには、受賞者の方々にこれからも創造と挑戦に満ちた新たな時を刻んでいただきたいという思いが込められています。

